

写真の力と言葉の力から「家族」の大切さを！

# 渡部 陽一 氏の『家庭教育講演会』

## 戦場を通して考える「子どもにとっての親の存在」 ～命の大切さと家庭の姿～

☆日 時：平成25年3月27日（水）  
18:30～20:00（開場 18:00）

☆場 所：平塚市中央公民館大ホール  
（平塚市追分 1-20）

☆講 師：渡部 陽一 氏  
（戦場フォトグラファー／ジャーナリスト）

☆対 象：市内在住の方（子育て中の保護者、家庭  
教育に理解のある方）

☆募集人員：650名（要整理券）

☆申込み：3月15日（金）・16日（土）の各  
日午前9時から各公民館で入場整理券  
を1人につき1枚配布。残が出た場合  
は、17日（日）以降1人2枚まで配  
布。（住所・氏名・電話番号の記入を  
お願いします。）

☆主 催：平塚市中央公民館 ・平塚市立地区公民館

☆問合せ：中央公民館（電話 34-2111）

※会場の駐車場には限りがあり、また環境配慮の点からも自転車や公共交通機関の積極的な利用をお願いいたします。



### ☆渡部 陽一（わたなべ よういち）氏 プロフィール☆

戦場フォトグラファー／ジャーナリスト。1972年9月1日、静岡県富士市生まれ。静岡県立富士高等学校、明治学院大学法学部卒。学生時代から世界の紛争地域を専門に取材を続ける。戦場の悲劇のなかに生まれる愛の契約、笑い、誕生を右目のファインダー、左目の裸眼で見据える。撮影写真のみならず、渡部氏の独特の語り口とその人柄は多くの人を魅了している。単独取材ゆえの長期潜伏取材を得意とし、これまでルワンダ内戦、コンゴ紛争、ユーゴスラビア・コソボ紛争、ソマリア内戦、パレスチナ内戦、コロンビア内戦、チェチェン紛争、イラク戦争、中国、チベット暴動など、世界情勢の流れのその瞬間に現場で取材を続けている。主な著書に、『硝煙の向こうの世界』（講談社）、『ぼくは戦場カメラマン』（角川書店）、『MOTHER TOUCH 戦場からのメッセージ』（辰巳出版）、『世界は危険で面白い』（産経新聞出版）、『報道されなかったイラクの人びと』（新風舎/共著）などがある。